

ヒト由来シトクロムP450還元酵素、組換え

Cat. No. NATE-1586

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 シトクロムP450還元酵素は、ミクロソーム内でNADPからシトクロムP450への電子移動に必要な膜結合型酵素です。また、ヘム酸素加水分解酵素やシトクロムB5への電子移動も提供できます。シトクロムP450酵素系は主に肝臓における外因性物質の解毒に関与しています。また、前癌物質の活性化やステロイドなどの内因性基質の代謝にも関与しています。

用途 ヒトシトクロムP450還元酵素は、脱アセチル化酵素阻害剤パノピノスタットの環状代謝物のバイオ触媒合成と構造解明を評価する研究に使用されました。ヒトシトクロムP450還元酵素は、ヒトミクロソームP450鎖に沿った電子の結合運動の影響を調べる研究にも使用されました。

別名 EC 1.6.2.4; NADPH:フェリヘモプロテインオキシドレダクターゼ; NADPH:ヘモプロテインオキシドレダクターゼ; NADPH:P450オキシドレダクターゼ; P450リダクターゼ; CPR; 9039-06-9; FAD-シトクロムcリダクターゼ; NADPH依存性シトクロムcリダクターゼ; NADPH:P-450リダクターゼ

製品情報

種	人間
由来	バキュロウイルスに感染した昆虫細胞
形態	10 mMリン酸カリウム、pH 7.4、0.1 mM EDTA、0.5 mM DTT、20% (v/v) グリセロールを含む溶液で供給されます。
EC番号	EC 1.6.2.4
CAS登録番号	9023-03-4
分子量	76.5 kDa
純度	>90% (SDS-PAGE)
活性	>30 U/mg
濃度	>1.0 mg/mL
単位定義	1ユニットは、37°CでpH 7.4の条件下で、NADPHによって1.0μmoleのシトクロムcを1分あたり減少させる。

保管・発送情報

保存方法 -70°Cで保管してください